

市

73
rd

展

2025

WAKAYAMA CIVIC
ARTS
EXHIBITION

第73回和歌山市美術展覧会

会期

1st 7/18(金) ~ 23(水)

書道・工芸

ギャラリートーク: 7月20日(日) 13:30~

2nd 7/25(金) ~ 30(水)

日本画

ギャラリートーク: 7月27日(日) 13:30~

写真

ギャラリートーク: 7月27日(日) 14:30~

3rd 8/1(金) ~ 6(水)

洋画・彫塑

ギャラリートーク: 8月3日(日) 13:30~

会場

和歌山城ホール

(展示室) 10:00~17:00

入場無料

出品目録

主催 和歌山市・株式会社ケイミックスパブリックビジネス (和歌山城ホール)
後援 読売新聞和歌山支局・朝日新聞和歌山総局・産経新聞社・毎日新聞和歌山支局 (順不同)
お問い合わせ 和歌山城ホール 〒640-8156 和歌山市七番丁25番地の1 ☎(073)432-1212
和歌山市 文化振興課 〒640-8511 和歌山市七番丁23番地 ☎(073)435-1194

〔洋画〕

〔全体評〕

前回より、作品数がやや少ないものの全体的に斬新な絵が多く観られ、審査員も緊張の連続の中で、拮抗された作品が多くありました。版画、水彩画も含めて、次回多く出品される事を期待しています。

○市長賞 シンジャダイショウガールVSinアークード 鈴木宏文 和歌山市
〈評〉 CGと手描きのハイブリットな技術で、2DのTVゲームのような独自の世界を作り上げていて、絵画の新しい時代を感じさせる。

CGを技術として活用した絵画は世界的にも増えているが、緻密な描写、画面分別、また「和」を取り入れた構成など、巧みな演出がなされており、今回の出品作品の中でも唯一無二の世界を描いている。

○市議会議員賞 Traveler's Prayer(旅人の祈り) 中尾吏加 海南市
〈評〉 個性的な色彩と詩情豊かな作品です。鳥は天の使い。天から詩の実を渡しに来たのだろうか？美しい花々は明るい平和な未来を願いつつ一瞬の充実した宇宙を旅する主人公がいる。失われつつあるユーモアややさしさを感じさせ見る人を楽しませてくれる秀作です。

○教育委員賞 自由 楠山実季 由良町
〈評〉 確かな描写力と、自分の描きたい世界観を演出するユーモアさがあり、構図のバランスも上手く、黒い空間の抜き方も巧みである。スポットライトを当てたような古典的な表現は近年の流行ではないが、絵画としての重さを感じさせてくれる。黒い空間の中に、さらに色調の幅があったり、何かが描き込まれていれば更に良い。今後を期待したくなる佳作であると思う。

○読売賞 海 湯川詩織 白浜町
〈評〉 色調がさわやかである。画面構成をよく考えた上で、具象的な手を描くことにより海辺でのやすらぎの一こまがさわやかに表現されている。

- 奨励賞 コウヨウ 新納菜々子 和歌山市
- 奨励賞 総合 中西瑞季 紀の川市
- 奨励賞 楽しい時間の始まり 切山 梓 和歌山市
- 奨励賞 Fly Me to the Moon 丸谷吉隆 〃
- 奨励賞 耀 綿野淳子 海南市
- 奨励賞 あざやかな冬の色 林 花辺瑠 紀美野町
- 奨励賞 福音 田端莉子 印南町

- 入選 花 長井佐起子 紀の川市
- 夏木立 忠 光夫 和歌山市
- 春の頃 野上久美代 橋本市
- 遊んでくれないかなあ 堂脇ゆかり 紀の川市
- シャボン玉 土井康雄 〃
- 初夏 船山文子 阪南市
- かくされた月 横田真吾 橋本市
- 友達 山下 能 和歌山市
- やすらぎのひとつき 松田年弘 〃
- 国宝 根来寺 大塔 中石昌典 〃
- 海鳥のある風景 宮本美和子 有田市
- 落花流水の鳥 堀田 博 和歌山市
- 晩秋 江戸美鈴 〃
- みんな生きている 舩岡弘崇 岩出市
- 絶対強者 濱ノ上紘生 和歌山市
- 希望の兆し 佐伯百菜 泉佐野市
- メリィ・ゴウ・ラウンド 鳥尻明依 和歌山市
- 淵然 米田貫雅 〃
- the opening ~始まり~ 栗栖美奈子 〃
- 見晴らしの丘バックヤード 土田勝義 〃
- 紫雲木 (ジャカラング) 長尾加津子 〃
- 海・月 紙谷莉悠 〃
- 私の大切なもの 糸谷あき子 阪南市
- 熊野ブルー 徳永統子 和歌山市
- 光の中で 橋本見子 有田市
- かぼちゃゴロゴロ 大山江美子 和歌山市
- 雨の調べ 廣橋良郎 〃
- 狼煙 井上真輝 河南町
- 梅雨の晴れ間に 佐久川敦子 和歌山市
- Mi 古谷 登 みなべ町
- 波 高松美織 白浜町
- 色沼 峯 優月 田辺市
- crave 塩田愛美 印南町
- 境界線 西 明架 田辺市
- map 1 藤田まゆみ 和歌山市
- shine on you! 永廣千瑛子 海南市
- テムズ河畔 福田恵子 有田市
- 君の弟分はお風呂中です 三谷明日美 田辺市
- 飛べるよ 馬場七星 和歌山市
- 珊瑚寺 道屋悦司 〃
- 夢うつつ 久保結愛 橋本市
- 青と春 阿瀬絵里香 〃
- ふしぎな館 松浦柚香 〃
- おかえり 松浦苺香 〃
- 存在感 宮下結衣 〃

秋炎	山中敏男	和歌山市
夜の明かり	児嶋香音	〃
粉河寺大門	高橋勇二	阪南市
初夏の桃山里景色	中西輝教	紀の川市

□無鑑査
○無査 鑑賞

風になって	小林洋子	和歌山市
-------	------	------

〈評〉 紙飛行機や沢山の動物や三輪車など愛らしいバックの中に高らかとコルネットを勇ましく吹く姿が効果を上げている。

生きる	藤本知世	海南市
生きてく私	廣田敦子	紀の川市
十魚十色	寺口雄三	和歌山市
一座	岡本二美代	海南市
川沿いの生活	中面弘次	和歌山市
秋冷の朝	辻本 渡	〃
美人林	杉林雅義	紀の川市
りょうすけくん	松本芳子	和歌山市
Happy Land	前田量子	海南市
プリズム	乾 しょうこ	和歌山市
共生	中東照茂	〃
夢に向かって	岡崎ひとみ	〃
花のあるアトリエ	井上育子	岩出市
豎琴を弾く女	檜 ふじゑ	和歌山市
日日は好日	辻 晴美	〃
美瑛 五月	裕 喜樹	海南市
提示 '25	岡崎ゆみこ	和歌山市
リラの咲くころ	村下良子	〃
巻・巻・巻	中西周代	紀の川市
壮大なる懸崖 (グランドキャニオン溪谷)	山田康廣	和歌山市
ほろよい	志賀清代子	〃
バラ	佐藤 円	〃
花	松谷弘子	紀の川市
朋 2025-A	稲垣紀子	和歌山市
浮遊 2025	堀 憲子	〃
my only confort	塚本稔子	〃
風景 2025	朝日卓志	〃
陸の魚	辻 環	橋本市
Parts that make up an era	無井由希子	平内町
道	島田博雄	和歌山市
木漏れ日	明渡和子	〃
蜜色の森	出口十糸	海南市
play	岩本 芳	和歌山市
刻	田中淳子	〃
眼差し	中野和夫	〃
五月咲く頃	土井敏弘	〃

Imagine the Food	吉田美紀子	和歌山市
気の向くままに	有本ふみ子	〃
イヤリングの女	三阪篤子	〃
里山	小原千冬子	〃
ひかり	中村恵伍	〃
幾何学模様の中に……	立本みさほ	〃
空気神社の紅葉 (山形)	棗 多江子	有田市
秋蘭	塩崎忠造	和歌山市
赤い鳥居をくぐれば	土井久幸	和歌山市
ウミオトメ	池田章子	〃
水寂	中森順一	〃
早春のアトリエ	榎本敬子	〃
パピヨン	辻 勝己	〃

□審査員

〔日本画〕

〔全体評〕

一般応募数が10点と昨年度より半減し、とても残念であるが、全てが充実した作品で目を見張るものがあった。モチーフとなった風景や植物への思いを表現しようと懸命に取り組んだ姿勢が伝わってきた。

市展に挑戦することで勉強になることもいろいろあり、実力アップのよい機会である。まずは楽しんで描くこと、続けることを大切に日本画に親しんでほしい。

次年度の応募数が増えることを切に願う。

○市長賞 通奏低音 中西博久 和歌山市

〈評〉 樹齢何年であろうか。それなりの歴史の流れ、月日の経過が読み取られる。静寂な空気の中で心が安らぎ癒されそして又、生きる力がフツフツと湧いてくる力強い作品である。

木と木の隙間、左方向に抜けていく参道又、統一した色調など市長賞にふさわしい秀作である。

○市議会賞 ひととき 庭田幸美 和歌山市

〈評〉 趣のある珈琲店を描いているこの作品の最大の特徴はその視点にある。2階席から見下ろすという思い切った構図が大変魅力的で目を引く。そして遠近法や消失点も自然でバランスがとれており、穏やかに差し込む光や、たくさんの客が踏んだであろうことを想わせる古びた床も心地良く表現されている。

技術的にも大いに伸び代を感じ、この恵まれた感性を今後どう作品に昇華させていくか楽しみである。

○教育委員会賞 夏の彩 田中辰代 橋本市

〈評〉 とても清々しく、見ていて気持ちのよい作品である。色彩が美しく、この季節の空気感がうまく表現されていると思う。

たくさんの花や葉を一枚一枚丁寧に描いてあり、モチーフへの愛情が伝わってくる。支柱の存在が画面を引き締め、のびのび育つアサガオの勢いを感じさせる。瑞々しい作品だと思ふ。

○読売賞 梓川 増田章子 和歌山市

〈評〉 信州梓川、透明な水、静かな川の流れ、やわらかい色調の空気につつまれた木々、大変難しい構図の作品だと思います。

奥行を上手に表現されています。ポイントも上手に決めて、良かったと思います。

○奨励賞 花便り 大谷紗代 和歌山市

○入選	青春	津村美智代	紀の川市
	みちのおく 追憶船	小森智康	岬町
	大神神社祈禱殿の想い出	酒井久恵	橋本市
	花王	栗本啓子	海南市
	みなべの風景	石大和子	みなべ町

□無鑑査

○無査鑑賞

ショーウィンドウ 中島宣子 和歌山市

〈評〉 クリスマスシーズンのわくわくするような雰囲気が表現されている。

ウィンドウの中の実像とガラスに映る外界の対比が面白い。

色調も変化に富んでいて、塗り方にも工夫が感じられる。

クリスマスソングが聞こえてきそうな作品である。

世界遺産 中村正志 和歌山市

花職人 藤井秀子 熊取町

明るいほうへ 南 智子 橋本市

椿 中 真喜子 和歌山市

想 北山令子 有田川町

□招待

華 崎山誓子 和歌山市

新潟・明星山 吉田見枝 〃

紅牡丹 吉田晃一郎 〃

悟り 小野千寿子 日高川町

琵琶湖黄昏 亀岡俊和 かつらぎ町

牡丹 集田信子 和歌山市

Cafe 加藤叔子 〃

静閑 岩本京子 〃

めぐりくる季節 高幣佳代 札幌市

幾星霜の早春 安藤貴久子 和歌山市

雨あがり 中井裕子 〃

観 吉本和代 海南市

野の風光 宮田有子 和歌山市

□審査員

息吹く里 南口みどり 橋本市

波濤 増田淑子 和歌山市

薔薇 清水 薫 〃

麗日 田中重造 有田市

春の野 角野千佳子 和歌山市

〔書道〕

〔全体評〕

今年は、出品数が例年になく少ないのが残念で淋しい限りでした。少ない乍らも見ごたえのある素晴らしい作品が多く、今回は全ての作品（漢字、仮名、篆刻）を一同に並べ一点一点厳正に検討しながらの審査でした。

作品の創造性、線の強さ等に重きを置き、見ごたえのある作品が入賞された事を喜ばしく思います。来年は芸術、美術にご理解頂き一層の出品数を期待しています。

○市長賞 王文治詩 坂本悠苑 有田川町

〈評〉 重厚な線で堂々と仕上げた手腕はさすが見事です。文字の大小、一貫したリズム、疎密の表現など変化に富んでいます。バランスの取れたすばらしい作品です。

○市議会
議長賞 朝日今 川上哉子 和歌山市

〈評〉 雄大な歌を思い切り強く充実した線で伸び、線の強さが紙のムラ感に合い心を躍らせる美しい作品です。一線一線を大切にかつ大胆に余白が美しい心地良い作品。

○教育委
員会賞 かすがのの 小栗明園 和歌山市

〈評〉 二段構成で、上が少し小さく下を広くした為に文字の大きさにも変化を持たし、横への動きが自然に書かれよくまとまっています。

古典に立脚した作品で、筆勢が強く、格調高い作品に仕上がりました。

○読売賞 ほととぎす 古川敏美 和歌山市

〈評〉 粋な構成で潤渇の変化があり、文字の疎密もあり、全体的にまとまりのある作品です。

山場にもう少し墨量があれば、もっと良くなると思います。

○奨励賞 春くれば 小崎和子 和歌山市

○奨励賞 更漏子 上平鞋士 〃

○入選 李邕の詩 松原山恵 紀の川市

劉著詩 津田敏舟 和歌山市

古今和歌集二首 狩野峰水 岩出市

紅葉 正木明翠 和歌山市

桜花 井村容子 〃

きり、ゝ、す 中村友子 〃

高青邱詩 刀禰好江 海南市

春たてば 北野明秀 和歌山市

あめつちの 井本舟香 〃

世の中を 星野聖沙 和歌山市

江津送劉光祿不及 前田桃琴 〃

震畏四智 井畑貴美子 〃

かすみたち 岡本千扇 〃

難波濁 宮本明幸 岸和田市

□無鑑査

○無査 鑑賞

むかしみし 仲 玲舟 和歌山市

〈評〉 三行構成で行の絡み合いが、とても上手です。中心に山場を持って来て、潤渇の変化で立体感を表現していて素晴らしい。

線質も太細の変化があり、紙もお洒落です。

井上大彊先生の言葉 川崎義典(大幹) 岩出市

許渾の詩 林 香舞 和歌山市

曲江対雨 高木久琴 〃

春過ぎて 西本紫舟 〃

北風吹白雲興里渡河汾心緒逢搖落秋聲不可聞 原田彩華 〃

雨後即事 岩橋瑞花 〃

ゆきゆけば 村山弥舟 由良町

關山月 白石翠心 和歌山市

はるすぎて 上野朱煌 〃

天つ風 久堀美香代 〃

懷舊 志茂珠香 〃

おくやまに 佐藤和子 〃

曹申吉の詩 長原葵香 〃

あかあかと 野田佳舟 日高町

沈愚詩 山下芳翠 和歌山市

白楽天詩 岩本栄光 紀の川市

唐詩 中村東光 和歌山市

良寛詩 井上安湖 〃

劉敞の詩 松尾明苑 海南市

孔文仲詩 赤坂松琴 和歌山市

海原 木下和美 〃

雪月花 網代知加 〃

白居易詩 北島瑞香 〃

あくがるる 岩岡里恵 〃

汪微遠の詩 山口珠鶯 〃

偶題 奥村香麗 〃

夕月夜 高橋佳舟 〃

□招待

華岡青洲の詩 三嶋昭苑 紀の川市

なき人の 中原朱穂 西宮市

春霖 西村霖風 和歌山市

魅惑 加納敬舟 〃

黒髪 上田大愚 〃

芭蕉の句 山本清雲 〃

嵐の星 池田一華 〃

朱	浅井香園	和歌山市
牧水の歌	南 雅仙	紀の川市
孤城	川瀬玲舟	和歌山市
歐陽脩句	渡辺李光	〃
いくやまかは	松倉映舟	〃
夏の花	吉本蒼琴	〃
高砂の	佐藤祥琴	〃
月華星彩	宮本龍勝	〃
かきこめし	瓦間寿舟	岩出市
趙執信の詩	下村真歌	海南市
詩似冰壺見底清	静 一華	和歌山市
人はいさ ころろ…	角谷真寿	〃
白樂天詩	遠藤美園	〃
氣魄	吉村祥雲	〃
卯の花や	土肥歌舟	〃
俳句 (梅落葉しずみたる陽のほひけり)	中家光苑	〃
復憐雲綺靡	上野花園	〃
孟浩然詩	田中清苑	〃
白樂天詩	谷口和光	紀の川市
ふるさと	出口抱琴	和歌山市
晨炊翠猶濕	瀬藤翠琴	岩出市
劉滄詩	中浦研玉	海南市
転凡成聖	高田佳鳳	和歌山市
石走る	百溪陽舟	〃
小倉山峰の紅葉心あらばいま ひとたびのみゆきまたなむ	岸畑由喜子	〃
海神	田端弓子	〃
五言二句	田村 剛	〃
五言句 (窓下有清風)	佐原ちづよ	〃
『論語』より	松村博峰	枚方市
薛能詩	小島健堂	和歌山市
花	小林明香	〃
鳳鳴朝陽	小澤清湖	〃
白露	戸村舟里	〃

□審査員

〔写真〕

〔全体評〕

多くの応募作品の中で、優劣を分けたのは作品が持つ「訴える力強さ」の有無でした。印象的な瞬間や場所を捉えた作品が多く寄せられた一方、不要な映り込みやピントの甘さによって訴求力が十分に発揮されなかった作品もあり惜しく感じる場面もありました。

その中で、入賞作品は新しい視点や高い表現力によって、鑑賞者に強く訴えかける力を備えたものが選ばれたと思います。

○市長賞 ボトルの底 松尾昌夫 和歌山市

〈評〉 ペットボトルの底を利用して色々な物を撮っています。

被写体にカラフルな短冊のようなもの、自転車、黄色い花、英字新聞、曼珠沙華と蝶などを選び、ボトルの底を通す事でゆがみが生じ、何だろう？と目をひきました。切り取り方も工夫されています。発想が面白く、展示方法も曼荼羅のようで今までにない表現方法でした。

○市議会議長賞 彩づく朝に 脇村和宏 和歌山市

〈評〉 朝の澄んだ空気に包まれた海の風景は、日本画を思わせるような美しさを湛えています。

水面に優美な曲線を描いて浮かぶブイと、朝もやに霞む沖の小島が、優美で静ひつな雰囲気をつくりだしています。

○教育委員会賞 Reflections of Youth 岡本未希 和歌山市

〈評〉 日常の光景を3枚の写真で組んでいます。日差し、女子生徒、学校と思われる建物の一部などを気の赴くままに撮影しています。主張の強い特別なものを被写体にしなかったことが良く、穏やかな日々が感じられます。

○読売賞 森の帝王 野尻勝大 和歌山市

〈評〉 森の中の本の大きな木を少しアンダー気味に撮っています。

ドラマティックな空を背景に広角レンズで撮ることで迫力が出て、少し傾けたのも効果的です。この樹の存在感、威風堂々とした雰囲気を出せています。

○奨励賞 晩秋 太田信子 和歌山市

○奨励賞 光の中で であいのりこ 〃

○奨励賞 男衆 清水賢治 堺市

○奨励賞 帰り支度 神谷輝吉 岩出市

○奨励賞 Inbound の波 宇佐美公男 橋本市

○奨励賞	夕陽	川口享子	和歌山市
○奨励賞	マイナスイオン	鶴谷佳之	〃
○奨励賞	媚び上手	井関心望	〃
○奨励賞	ハルのゆくえ	辻本 咲	〃
○奨励賞	裏方	丸谷彩夏	〃
○奨励賞	記憶	上村倅希奈	〃
○入 選	追憶	波木基子	和歌山市
	旅立ちまで	太 一男	〃
	祭りの終焉	千原慶士	橋本市
	千畳敷の夕暮	千原慶士	〃
	サンシャインエッジ	酒井雅治	〃
	サンシャイン	酒井みゆき	〃
	陽光そそぐ	出合善昭	和歌山市
	星屑のステージ	岡本憲治	〃
	気嵐と雲海のコラボ	笠松康作	〃
	静寂閑雅	中山公章	海南市
	森の守護者	米村昌則	和歌山市
	スコーガフォスの滝	田中康裕	〃
	夕陽を背に	鶴田圭吾	〃
	Castle Night	吉村 登	〃
	幻想の世界への誘い	中西克仁	海南市
	見守る	山口敏幸	有田市
	樹魂	谷口幸永	かつらぎ町
	赤い橋	山崎紀久一	紀の川市
	Emergency Call	中道克巳	海南市
	海辺の子供達	小畑光弘	和歌山市
	夕焼け空	小畑光弘	〃
	奇怪な街	野島 満	〃
	お勘定	宇佐美公男	橋本市
	脚光を浴びて	野尻勝大	和歌山市
	朝焼けのグラデーション	清水政知	海南市
	緑に舞い降りて	清水政知	〃
	歓喜の渦	田邊勉弘	和歌山市
	樹氷	山田知恵子	海南市
	夢うつつ	宮崎眞次	和歌山市
	竹あかり	土屋義和	紀の川市
	混沌	田村久美子	和歌山市
	残滓	常田八恵子	紀美野町
	真夏の灯	鶴谷佳之	和歌山市
	波待ち	藤吉修忠	〃
	大自然	青木隆幸	〃
	夕刻グラデーション	大橋充幸	海南市
	ウルルの朝 始まりの瞬間	森 瑞穂	阪南市
	連々と繋がる	橋本都雅	和歌山市
	自慢の父	大谷穂乃実	〃

鉄に捧ぐ	辻本ゆう	和歌山市
命を吹き込む	木村優利	〃
不変	上田望未	〃
あなたはいつもそばに	白子幸那	〃
問いの痕跡	塚 春碧	〃
心の声	岡井杏璃	〃
Focus	小副川羽菜	〃
休日のひと時	児玉結以奈	〃
希望の音色	山口留璃	〃
春光	上須崎友真	〃
春爛漫	岩橋里奈	〃
そっと触れた春	梅田こころ	〃
自殖	匠 陽菜	〃
音を忘れた場所	三島帆加	〃
光のキャッチボール	井上 遥	〃
みちの先は	後安佑衣子	〃
薄墨のひとつき	溝口芽生	〃
毎日の風景	楠部ゆずき	〃
北の空	島田健司	〃
八坂二年坂のひとつ	中嶋 嵩	〃

□無鑑査

○無 鑑
査 賞

脳トレ 妹背佐江子 紀の川市

〈評〉 高齢の男性が数種類のたくさんの薬を分けています。服薬を忘れないように日にちごとに整理をしているようです。それを監視役のようにじっと見つめる猫。ユーモラスな光景に見えますが、笑えない現代社会が表現されています。

one dollar	池田義成	和歌山市
春景	瀧本佳史	〃
チンドン	山本一也	御坊市
水道橋崩壊ふん宮・住民憤慨	児玉正雄	岩出市
小さな冒険家たち	中山知子	和歌山市
ひと休み	榎本隆志	和歌山市
メルヘン	石橋洋一	〃
山里の春	松原勝次	〃
終業	山下廣子	〃
優美	楠見 勝	〃
構造の美	小池秀和	〃
ひとつき	小西弘子	〃
東屋のある風景	坂口 享	〃

□招 待

□審査員

日課の散歩	山中健次	かつらぎ町
残照	山下良富	和歌山市
Presence	中道ちあき	海南市

〔彫塑〕

〔全体評〕

出品点数が一点と少なかった。平面と違って立体の作品は楽しい事が多く見えて来る。

今は素材も多くあり、今後多くの人が挑戦してくれる事を期待する。

○教育委員会賞 古代の歓び 井上隆好 和歌山市

〈評〉 うがたれた穴は呼吸の為の口か…。

人体を想起させるフォルムは、ユーモラスで愛嬌たっぷり。

今回は行進しているふうな構成だが、それがかえって正面性を強め、空間全体が少しパターン化されて単調になってしまった感がある。個人的には、さらに沢山の「ヒトガタ」の構成で驚かされたいと思う。次回の作品がとても楽しみになる。

□無鑑査 「時間よもどれ」2025 寺口雄三 和歌山市

□招待 Great Japan-2 大木譲司 みなべ町

□審査員 水上の望楼 岡本勝利 広川町

ゴールに向かって一歩ずつ 松谷靖夫 紀の川市

星の子 橋本和明 湯浅町

〔工芸〕

〔全体評〕

昨年と同じく出品数が少なく残念です。

作品自体、陶芸が多く平面作品やうし等の伝統的な作品が少なく残念です。既成の物を使った作品が多くなっておりませんが、そのまま使うのではなくひと工夫すると楽しい作品になると思います。

○市長賞 まんだら華 岡部志津代 泉南市

〈評〉 初夏の朝に咲く清楚な感じのまんだら華を漆では表現不可能な白色を漆芸に於ける卵殻貼り技法で巧に安定した構図で無難に収めた佳作である。今後更なる技術の向上されんことを期待致します。

○市議会議長賞 精霊の城 派谷高明 白浜町

〈評〉 釉薬を掛けないで白い土の色と紐作りでコツコツと積み上げた形が面白い表情となっています。「精霊の城」と題名が無機質な作品と合っていると思います。

○教育委員会賞 自分史糸かけ曼荼羅 和田佳代子 和歌山市

〈評〉 細い多色の糸を平面にピン掛けて、小さな同心円を描いている。この手法は世界の各地で用いられているが、作者は曼荼羅に見立て自分の世界を造り出している。糸の繊細さに惹きつけられ、思わず見入ってしまう。欲を言えば、この円状のものが1個だけでなく、2個、3個と数が多くなり、又重なったりすることにより、作者の心の曼荼羅にも重厚さが加わるのではないかと想像をかり立てられるすばらしい作品である。

○読売賞 flow 海老江公司 和歌山市

〈評〉 作品の形は、面白いですが題名のflow、流れの意味をどう理解すれば良いか悩みました。もう少し作品が大きいと迫力と流れが表現できたと思います。

○入選 淡青釉鉢 竹本幸雄 和歌山市

バラ園の思い出 湯川輝美 広川町

花器 中井美代子 和歌山市

焼き締め灯り器 花鳥銀河 北澤誓希 かつらぎ町

椿姫 佐古善三郎 和歌山市

陸前高田奇跡の1本松 佐古善三郎 〃

NEITHER 海老江公司 〃

竹林の花垣 伊丹哲哉 美浜町

天星昇 野間田繁一 和歌山市

□無鑑査
○無鑑賞

花笑み 木下美恵子 和歌山市

〈評〉 かつては、押し花は「手芸」として見られていた。技術の進歩とそれに伴う表現方法の進化により、現代の工芸として自他共に賛同を得ていることは将来が明るく、大変喜ばしいことである。この作品は押し花の特徴を巧みに生かし、画面構成のすばらしさ、背景の色違い等、見る者の心を惹きつけてやまない。欲を言えば少し破綻があっても良かったのではないかと思わされる秀作である。

青銅釉花器 久我口文雄 和歌山市

飛びカンナ花器 稲垣博一 紀の川市

マット釉煙霞花器 牧野敦子 和歌山市

青銅鉢 安里 満 阪南市

涼 西岡伊津子 〃

□招待 焼締火色寸胴花器 稲田 績 和歌山市

天目釉鉢（愛） 並松雄二 岩出市

存 河野ゆみ子 和歌山市

袴姿・まり（残り布） 鈴木節子 〃

緑青多彩壺 岡本昌昭 〃

想作刺繍「飛翔・Towa」 坂本留美 河内長野市

漆絵 おひるね 後藤佳世子 和歌山市

線象嵌花器 嶋本博文 〃

萌芽 宮内 昇 貝塚市

鳥～枇杷染とろうけつ染～ 田中利恵子 有田市

文書箱 牡丹 嶋本弘子 和歌山市

花群 橋爪靖雄 海南市

桃形菓子鉢 寒川栖豊 白浜町

□審査員 異国の空 田中紀子 茨木市

天象 山田健二 海南市

竹花生 喜多忠男 有田市

一般応募・入賞・入選数

	応募点数	応募者数	入賞数	奨励賞数	入選点数
洋画	64	60	4	7	49
日本画	10	10	4	1	5
書道	20	20	4	2	14
写真	121	99	4	11	59
彫塑	1	1	1	0	0
工芸	14	11	4	0	9
計	230	201	21	21	136

展示点数

	一般	無鑑査	招待	審査員	計
洋画	60	17	28	5	110
日本画	10	6	13	5	34
書道	20	28	36	4	88
写真	74	6	8	3	91
彫塑	1	1	1	3	6
工芸	13	6	13	3	35
計	178	64	99	23	364